

# 公益社団法人 宮崎県物産貿易振興センター



## アンテナショップのPOS端末として HP rPOSシリーズを導入 効率的な店舗運営とコスト削減を実現

### 業界

小売店

### 目的

- POSシステムの刷新により、効率よい店舗運営や顧客満足度向上、コスト削減を図る。

### アプローチ

- 宮崎、東京、大阪にある宮崎県のアンテナショップにHP rPOSシリーズを計7台導入。決済システムがPOSと統合されるなど効率化が実現。

### IT構築

- HP rPOSシリーズとEC-REGIIにより、基幹システムと連携した使い勝手のよいPOSシステムを構築
- クレジットカードや電子マネーシステムをPOSシステムと統合
- 混み合うフロアにはPOS端末を増設できるようなコンパクトなモデルを採用
- プロモーション活用に向け、カスタマー向けの大型のカラーディスプレイを装備
- 売掛処理に必要な伝票をPOS端末の操作で出力できる機能を搭載

### 導入の効果

- 初期コストの削減とコンパクトなボディによりPOS端末を増設でき、混雑を緩和
- HP rPOSシリーズにより、従来の専用POS端末に比べ大幅にコスト削減
- クレジットカードや電子マネーシステムと、POSシステムの統合により効率化とミスを誘発しない体制を実現
- 複数年の保守契約や充実したサポート体制により、安心して利用可能
- 売掛業務をPOS端末で一括処理できるようになり、効率化を実現



地方自治体の産品を大都市で実物を見てもらうことでアピールし、ファンを増やすために欠かせないアンテナショップ。各道府県がしのぎを削る東京の新宿駅前にある宮崎県のアンテナショップ「新宿みやざき館 KONNE(コンネ)」は、連日数百人が県産品を購入していくという人気店だ。同店を運営する宮崎県物産貿易振興センターは、店舗運営の効率化やPOS端末の増設、コスト削減などをめざし、統合管理システムとPOSシステムを刷新。POS端末には、HP rPOSシリーズを採用した。従来クレジットカードや電子マネーシステムとPOSシステムが別々だったために起きていた二重入力による煩雑な操作や入力ミスの危険性がなくなった他、端末の増設によって、店舗の混雑緩和を実現。店舗運営の効率化やコスト削減に寄与している。



## 店舗運営の効率化や 行列の解消をめざし POSを含むシステムを一新

マンゴーや鶏の炭火焼、焼酎など、特徴的な物産が多くのファンを持つ宮崎県の県産品。これらの多彩な県産品のPR、販路拡大に取り組む唯一の公益的物産振興団体が、宮崎県物産貿易振興センターである。アンテナショップやオンラインショッピングサイトでの県産品の販売や、物産展や商談会の開催、新商品の開発支援、セミナーや研修会の開催、貿易相談などを実施し、宮崎県の物産振興に尽力している。同センターは、宮崎県庁内および東京、大阪にアンテナショップを持ち、県産品を展示・販売している。特に東京新宿駅前にある「新宿みやざき館KONNE」は、立地の良さと、ここでしか手に入らない県産品の魅力が人気を呼び、平日でも約500名、土日になると約1000名が商品を購入していく。2フロアの同店の1階には特に購入

者が多い食品が並んでおり、平日でも時間帯によってはかなり混雑する。しかし、従来はPOS端末が1台しかなく、来店客を待たせていたと宮崎県物産貿易振興センター 東京事務所 副所長 日高栄治氏は次のように語る。「特に土日は行列ができて、お客様をお待たせしていました。5人、10人並ぶこともあり、行列を見て購入せずに帰られた方もいらっしゃったかもしれません。しかし、以前使っていた専用POS端末は、コスト面からも、手続き面からも途中から1台増やすというわけにはいきませんでした」

また、従来のPOSシステムは、クレジットカードやICカードリーダーが読み取ったデータを直接インポートできなかった。そのため、「POS端末に入力した後、改めてそれぞれの決済システムで処理を行う必要があり、二重入力の手間がかかるうえ、入力ミスの原因ともなりかねませんでした」と日高氏は語っている。

さらに、在庫管理や販売管理、発注管理などの店舗運営に必要なシステムが、各店舗1台ずつの特定のPCからしか利用できないという課題もあった。たとえば発注や販売、仕入れなど担当者が異なっても同時に作業ができないので、お互いの予定を調整しながら利用せざるを得ない。これでは効率が悪いうえ、処理の遅れにも



宮崎県物産貿易振興センター  
東京事務所 副所長  
日高 栄治 氏



株式会社 クリエイト  
システム営業課 課長  
久家 栄二 氏





つながってしまう。

そこで、店舗運営に必要な統合管理システムおよびPOSシステムを一新し、同時にPOS端末の入れ替えを実施することとなった。

## 万全なサポート体制やデザイン、価格からHP rPOSシリーズを選択

宮崎県物産貿易振興センターは、2014年秋口から複数の提案を受け、検討を実施。提案内容や価格、サポート体制などを評価し、11月にEC-REGI(クリエート)を含む、ひむか流通ネットワークの提案を採用した。同社の提案したPOSシステムは、クリエートが開発したアプリケーションEC-REGIとHPのPOS端末HP rPOSシリーズで構成されている。EC-REGIは、スマホライクな優れた操作性や高度な分析機能、実店舗とオンラインショップとの連動など、多彩な機能を備えた店舗運営のアプリケーションである。そして、EC-REGIを店舗で操作するためのPOS端末が、HP rPOSシリーズだ。HP rPOSシリーズは、従来の専用端末にはないスタイリッシュなデザインを持つWindows搭載POS端末で、Windows Embedded POSReadyのほか、Windows 7や8も選択可能。モニターの高さが調整でき、角度も水平近くまで変えられるので、顧客との間に壁をつくることなく接客することもできる。また、背面にフルカラーディスプレイを搭載できるので、精算待ちの間に購入商品と関連した情報を流すなど、プロモーションツールとしても利用できる。

EC-REGIの端末としてHPのrPOSシリーズ

を選んだ理由について株式会社クリエートシステム営業課 課長 久家栄二氏は、「やはり、お客様からするとサポートがしっかりしていることが最大の魅力だと思います。当社が以前採用していたタッチパネル式の端末は、サポートが1年しかなく、サポートを重視されるお客様には勧めにくいものでした。しかし、HPなら複数年のサポートが可能で、安心してお勧めできます。以来ずっとHP rPOSシリーズとセットで提案し、その中で開発を進めてきました」と語っている。

2015年1月には東京でPOSシステムのデモを実施。統合管理システムの開発を待って連携をとり、システムが完成。2015年6月より利用を開始した。

導入されたHP rPOSシリーズは合計7台。宮崎には、15インチタッチパネルディスプレイを備えたオールインワンタイプのHP RP7 Retail Systemを3台。新宿店には、省スペース型で14インチタッチパネルディスプレイを備えたオールインワンタイプHP RP2 Retail Systemを3台。大阪には、東京と同じHP RP2 Retail Systemを1台である。日高氏は、「新宿では元々1階に2台置きたいと思っていたので、コンパクトなRP2を選びました」と選定理由を語っている。

EC-REGIはパッケージではあるが、店舗の業種や扱い品目によって使い方も異なる

うえ、商品データベースとの連携などが必要となるため開発や設定が必要となる。久家氏は、「HPには開発に必要な機材を迅速に提供していただき、開発もスムーズに進めることができました」と語っている。

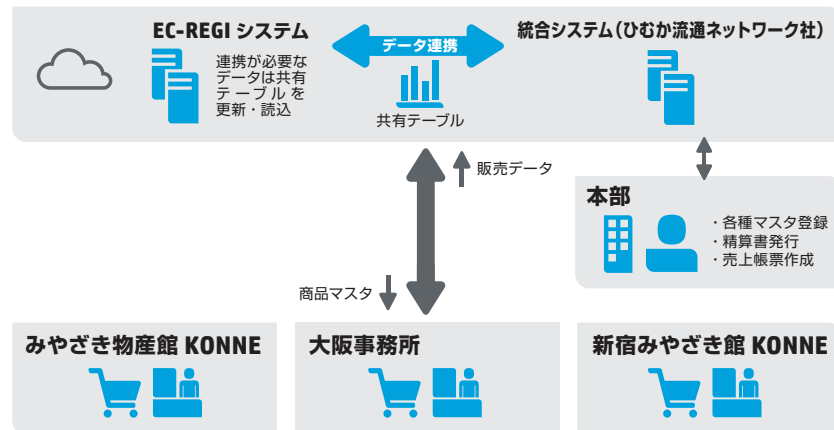
## 混雑の緩和やレジ業務の効率化を実現

新宿みやざき館KONNEにデモ機が届いたのが、利用開始の10日ほど前のこと。一部のスタッフに対してトレーニングを実施。そのトレーニングを受けたスタッフから他のスタッフに使い方が説明され、さらに各自空き時間にデモ機にできるだけ触れるという方法で、全スタッフが一通りの使い方を覚えていった。今回キー入力からタッチパネル入力に変わったこともあり、慣れるまでは人によって戸惑いもあったようだが、慣れるにしたがって抵抗感はなくなっていった。「今はスマートフォンなどでタッチ入力が増えており、特別なものではなくなっています。慣れの問題でしょう」(日高氏)



### 宮崎県物産貿易振興センター POSシステム概要

#### クラウド



EC-REGIの端末としてHPのrPOSシリーズ



HP RP2 Retail System

また、POS端末から売掛業務が可能な機能を搭載し、宮崎店で利用している。これにより、POS端末から見積書、納品書、請求書を発行できるようにした。同店は県庁内にあり、県庁の職員が業務に必要な品物を購入する必要がある。その際には、これらの書類が必要となり、従来は別の場所にある別のシステムでこれらの書類を出力していた。これをPOS端末で出力できるようになり、大幅な効率化が可能になった。新宿店は、現在混み合う1階に2台、2階に1台のHP RP2を設置している。導入メリットについて日高氏は、「POS端末が1台から2台に増えたことで、行列が短くなり、待ち時間も短くなったと感じています。また、別々のシステムだったクレジットカードや電子マネー決済なども、すべてPOSシステムと統合されたので、効率化が実現したうえ、二重入力がなくなりミスを誘発する

可能性もなくなりました。デザインもスマートで店になじんでいます」と語っている。

今回、コスト削減や効率的な店舗運営を実現した新宿みやざき館KONNE。現在、実運用を行いながら、よりよい使い勝手をめざし、いくつかの調整を行っている。また、今回搭載したカスタマーディスプレイの活用も行っていく予定だ。日高氏は、「従来のお客様用モニターは数字が1行表示できるだけでしたが、10.4インチのフルカラーディスプレイになったので、今後精算の待ち時間に、お客様にご購入いただいた商品と関連した商品の映像を流すなど、さらに活用していきたいですね」と、今後の抱負を語る。

HP rPOSシリーズは、これからも新宿みやざき館KONNEの店舗運営を強力にサポートしていく。



## 公益社団法人宮崎県物産貿易振興センター

### 本拠地

宮崎県宮崎市宮田町1-6  
宮崎県庁8号館1階

### 東京事務所

東京都渋谷区代々木2-2-1  
新宿サザンテラス内

### 設立

1998年(平成10年)4月1日

### 代表者

佐多芳大

### 事業内容

県産品の取引、商談等に関して県内企業への支援  
県産品の開発、改良、企画、デザイン等に関する県内企業への支援  
国内外での物産展・見本市等の開催や参加  
県内外アンテナショップ運営  
貿易振興、国際経済交流に関する事業の開催や参加  
貿易、海外投資、技術提携等海外取引に関する相談対応

お問い合わせはカスタマー・インフォメーションセンターへ

03-5749-8343 月～金 9:00～19:00 土 10:00～17:00(日、祝祭日、年末年始および5/1を除く)

HPのrPOS製品に関する情報は <http://www.hp.com/jp/pos>

本ページに記載されている情報は取材時におけるものであり、閲覧される時点で変更されている可能性があります。予めご了承下さい。

本書に含まれる技術情報は、予告なく変更されることがあります。

記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

記載事項は2015年8月現在のものです。

© Copyright 2015 HP Development Company, L.P.

株式会社 日本HP

〒136-8711 東京都江東区大島2-2-1

